学び動く下川町議会

経営改善の取組に学ぶ
沼田町　ほろしん温泉ほたる館



７月３日、総務産業常任委員会は沼田町のほろしん温泉ほたる館を視察しました。この宿泊施設は、町外に多数の施設を運営し実績のある第一寶亭留が、令和５年から指定管理で運営しています。

宿泊部屋の一部は低床ベッドが備えられ、また、フロント階は円形型バーカウンターに改修されています。

施設を見学した後、支配人などからお話を伺い、いかに少人数での運営ができるか、顧客の利用拡大の推進、町民への利益還元を強く意識されていました。

町民が期待する指定管理の役割を改めて考えさせられる視察でした。

９：06　総務産業常任委員会　調査結果報告→
（動画時間）17分

読まれ伝わりつながる
議会広報研修会

８月18日、編集委員３名が北海道町村議会広報研修会に参加しました。

発行目的に沿った企画・編集になっているか、読みやすさ、分かりやすさへの編集技術という観点で、芳野（よしの）　政明（まさあき）講師から議会広報誌作成へのアドバイスをいただきました。今後の議会だよりに活かしていきたいと思います。



生きることの包括的な支援
ゲートキーパー養成研修

９月10日、名寄保健所及び役場保健福祉課の保健師を招いて下川町ゲートキーパー養成研修を受けました。

「ゲートキーパー」とは、自殺を思い悩む人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。

傾聴することや相手を尊重して受け止めることの大切さや、容易に励ましたり説得することが逆効果になってしまうことなどを学びました。

